



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第19号 (2004年1月31日)

★ 日本チェロ協会 ホームページ近日開設

2004年3月までに開設予定 日本チェロ協会事務局 <http://cello.gr.jp>

**会員の皆さまが出演される
コンサートの情報を
お寄せください!**

- (メールアドレスをお持ちの方へは、既にご連絡済み
の件です)
- メールアドレスをお持ちの方は、必ずメールの添付
ファイルにてお送りください。
- システム会社と事務局のやり取りをメールで行う都合
上、ご協力をお願いいたします。
- (日本チェロ協会にメールアドレスをお届けいただいて

いない方で、新たに取得されている場合は、名簿上は
非公開でも結構ですのでアドレスをお知らせください。
そちらのアドレスへフォーマットをお送りします)

メールアドレスをお持ちでない方は、今回同封の
フォーマットにご記入のうえ FAX ください。

掲載対象とさせていただきますコンサート等につきましても、
フォーマットをご覧ください。

ボランティア大募集!!

日本チェロ協会のホームページ運営に
参加されませんか?!

The screenshot shows the website layout with the following elements:

- Header: Japan Cello Society logo and name.
- Main Title: 日本チェロ協会
- Introductory Text: 日本チェロ協会 (Japan Cello Society) はチェロリストの親睦を
図りチェロの楽藝としての発展性を図っていく団体です。
- Navigation Menu:
 - JCS主催の催し: 「チェロリコンのご案内」「マスタークラス開催のご案内」の掲載
 - コンサート情報: コンサート日程を掲載しています
 - イベント情報: 音楽祭、コンクール、ワークショップ情報のご案内
 - 入会のご案内: 入会のご案内、申込書の掲載
 - リンク集: チェロ関連サイトのリンク集です
 - JCSニュース: 「JCSニュース」をダウンロードできます。
- News Section: 新着ニュース
 - 新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。
 - 新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。
 - 新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。新着のニュースがここに入ります。
- Footer: インターナショナル・チェロ・コンクレス・イン神戸 説明が入ります。説明が入ります。

★活動内容

チェロ協会会員から、コンサート
やリサイタルの公演情報を集め、
内容チェック後に事務局へご提出
いただくお仕事です。

コンサート情報を提供いただく
フォーマットがあります。今回
「会報」といっしょにお送りして
います。ご参照ください。

★活動頻度

3週間～1ヶ月に1回程度
(ただし、集まる情報の内容・量に
よって、ご相談させていただきま
す)

★ボランティアにご応募いただける方

このお仕事に興味がおありで、メールアドレスをお持ちの方（システム会社とのファイルやり取りの都合上、メールで連絡が可能な方に限らせていただいています）

★活動期間

開始より基本的に1年間としますが、途中で活動が不可能となった場合はお申し出ください。

また、1年経過の時点でご要望があれば、ご相談のうえ継続いただくこともあります。

★その他

ご応募多数の場合は、ご相談させていただきます。

「インターナショナル・チェロ・コンGRESS・イン神戸」

新◆着◆情◆報

★ 大会の特別名誉会長に、河合隼雄文化庁長官のご就任が決定しました！

(株)読賣新聞大阪本社様にご共催いただくこととなりました！

ルイス・クラレット、アルト・ノラス両氏から正式に「参加」のお返事が届きました!!

なお、両氏にマスタークラス、コンサート・リサイタル等、大会中のどのプログラムにご参加いただけるかは未定です。

また、今後も続々と国内外のチェリストからお返事が到着する予定です。

2005年5月16日(月)～22日(日)

神戸国際会議場、神戸ポートピアホテル、

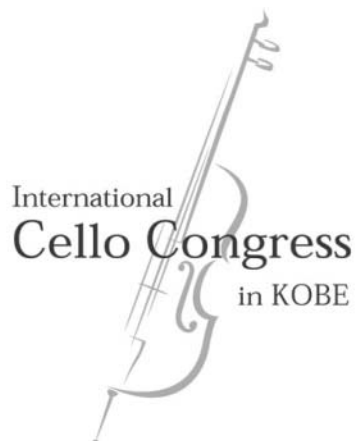
ワールド記念ホール

主 催 NPO国際チェロアンサンブル

共 催 日本チェロ協会

(社)才能教育研究会

(株)読賣新聞大阪本社



名古屋チェロサロン開催

2003年8月31日
(於：名古屋スタジオ・ルンデ)

◆
酒井先生のコメントと、当日参加された会員の岩城さんのレポートをご紹介します。
◆

I マスタークラス

この日は、中島顕先生からご推薦いただいた(社)才能教育研究会の佐古健一さんが、酒井先生のマスタークラスを受講されました。佐古さんの選んだ曲は、エルガーの「コンチェルト」第3楽章。

酒井先生から「音楽的によく歌っていて、良い演奏でした」との総評とともに、次のようなコメントが寄せられました。

♪ヴィブラートのつくり方

棹の上で手をすべらせるような気持ちで、弓を使い過ぎないで芯のあるヴィブラートを意識してみましょう。

♪シフトについて

たとえば、電車が駅を出発して次の駅に停車するようなイメージで余分な運動のない動き方を心がけてみては？電車も、準備をせずに急停車すると危険ですよ。

♪感情を込めて

オペラのなかで歌われるレチタティーヴォのように、語るように。演劇のテクニックでいえば、例えばある特定の個人を見つめながら、その人に訴えかけるつもりで・・・それが結果として多くの人に伝わることもあります。ひとつの方法として覚えておかれたらどうでしょうか。

II J.S.バッハ「無伴奏チェロ組曲」と「組曲とは」(お話)

チェロの演奏家がそれぞれに想いを込めて弾く曲のひとつであり、また多くのチェロ愛好家にとっては憧れであるこの曲。

私達チェリストにとってバッハの無伴奏組曲はもっとも古いレパートリーの一つとなりますが(無伴奏曲で



はドメニコ・ガブリエーリが七つのリチェルカーリを1689年に書いています) バッハの音楽はそれ以前の音楽を集大成しているため、16世紀の対位法など私達が実際に弾く以前の音楽を知っていることをお勧めします。

3
バッハの無伴奏組曲は17世紀のフランス作曲家たちが確立したダンスの様式とそこから発展したイタリアの書法の二つから成り立っています。今日は実際にフランスで(または他の国でも)踊られていたステップに重点をおいて組曲の楽章を見てみましょう。

◆
プレリユード=前奏曲。バッハのプレリユードは構成度の高い前奏ですが、プレリユードの即興的要素を忘れないで一瞬のひらめきのようなセンテンスに注意して演奏しましょう。

◆
アルマンド=17、8世紀のダンスの文献にはアルマンドのステップは残っていません。8分音符が連なるベースラインを想像して弾くことをおすすめします。

◆
クーラント=5番のクーラントがフランス風の踊れるクーラントです。クーラントのステップは1拍目につま先で立ち上がり2拍目にもう一つの足をスライドして3拍目に軽く飛ぶという感じのいろいろな要素が入っています。イタリア風のクーラントの場合でも強い1拍目と3拍目に軽いアクセントがあると良いでしょう。

◆
サラバンド=スペインで発祥し、テンポの速いダンスでしたが(イギリスでは17世紀まで速い楽章として組曲の終わりなどに使われていました)フランスでテンポの遅い楽章として確立しました。つま先で床を撫でる(グリッセー)が特徴です。

◆
メヌエット＝フランスの田舎ではじまった、当時は舞曲のなかでも新しい形式のものでした。ダンスでは6 / 4拍子、2小節で一つのステップが完成します。ステップは歩くように。

ブーレ＝とても速く、1拍目につま先で立ち2、3拍目にそのまま進み、4拍目にかかとをおろすステップです。強い1拍目とそれを用意する4拍目がポイントです。

ガヴォット＝二小節目の1拍目に行くために”跳び”が要求されるダンスです。

ジーク＝5番のジークが典型的な踊られていたジークです。決まったステップはありませんが頻繁に踊られていたようです

- 酒井先生みずから楽章ごとのステップを実演しながらの、楽しいお話となりました。

<Q&A>

Q：バッハの組曲は踊られていたのでしょうか？

A：分かっていなく、議論の対象にもなったりします。スタイル的には踊ることが不可能ではない楽章がいくつかあるとって良いでしょう。

聴講レポート

R-170 岩城雅邦さん

待ちにまった名古屋でのチェロサロン開催に感激もひとしおです。

チェロ協会から送られてくるチェロサロンはいつも東京開催。たまに大阪という状況で、愛知県豊田市在の小生としては「同じ会費を払っているのに……」と内心では少々不満でしたが、ようやく中島顕先生のお陰で一件落着。

*

8月31日（日）夏休み最終日の暑い午後、名古屋伏見の「スタジオルンデ」に集まった約20名ほどの参加者を前に、講師を務められた新進気鋭の若きチェリスト酒井淳氏は大熱演。まだ20才台後半の若きマエストロは、小生の会社などではまだまだ生意気な？若造としてこき使われているのに、すでにプロとして海外で揉まれたせ

いでしょうか、丁寧で温かい言葉使いに私のような中年小父さんはすっかりファンになってしまうほどの好青年で、酒井先生指導のチェロサロンは楽しい、また大変有意義な会合になりました。

*

会の進行は、まず公開レッスンスタイルで始まり、参加者の一人がエルガーのチェロ協奏曲第3楽章を演奏。愛らしいパッセージを演奏する時は客席の可愛い人を見てその人に訴えるように弾くと良い など我々アマチュアチェリストにはとてもわかりやすい指導で皆納得。続いての第2部ではバッハの無伴奏チェロ組曲を取上げ、それぞれの舞曲を教材に、ご自身の考え・取組みを熱い語り口と舞曲ステップの実演を交えて、これまた判りやすいとても有益なお話でした。

*

休憩のあとは 参加者全員で楽しくも緊張するアンサンブルの実演。曲ごとにパートを弾き分け、いろいろな角度からの取組みにこれも大いに盛上がり、予定の時間はあつという間に到来という誠心充実した名古屋初のチェロサロンでした。

*

酒井先生ありがとうございました。



日本チェロ協会会報（JCS NEWS）第19号

2004年1月31日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内

電話 03-3505-1001 FAX 03-3505-1007

発行人：堤 剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：リュウカンパニー